

1. 計画名称

茅野市環境基本計画

2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	コロナの影響で多くの人が集まってくる活動はやりにくくなってはいるが、豊かな自然と人が調和する環境づくりを進める中で、各施策等は一定の成果を挙げている。世界各地で異常気象が頻発し、気候変動が人類共通の課題となり、未来を担う世代に持続可能な社会を引き継ぐために、市民団体等との連携を図り、各施策等の着実な推進及び普及啓発活動を継続していく。
今後の重点化施策番号	1	説明	未来を生きる世代へ自然の恵みを大切に受け継いでいくためには、各施策等を推進する市民団体等の担い手確保が大きな課題となっている。関連部署等との連携を図り、持続可能な社会づくりの課題解決に向けた取組手法を検討していく。

3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	自然の恵みを大切に受け継ぐまち ー良好な自然環境の確保ー	おおむね順調	新型コロナウイルス感染症対策のため行事を中止や縮小せざるを得なかった。その中で、小康期には適切な感染症対策を講じながらいくつかの行事を実施できたことは次年度につながる。	新型コロナウイルス感染症対策の収束が見えない中において、対策を講じながら取組を推進できる有効な手段を見出していけるかが大きな課題である。	感染症対策を十分に講じる中で関係者との協議を経て各種取組を推進していく。
2	安全で人にやさしいまち ー安全な生活環境の確保ー	順調	公害苦情処理の内、軽微なものについては即時解決させ、長引きそうなものについては次年度に持ち越さぬよう、年度内解決を目標に取り組んでいる。合併処理浄化槽の法定検査率は順調に上昇している。	顔見知りであることによる匿名での苦情や、空き家や空き地など所有者が不在の土地を発生源とする苦情の増加が課題となっている。	近所同士のトラブルにおいては、申立者の言い分だけを聞くのではなく実際に状況を確認し、公平性のある対応に努めなくてはならない。空き家等については、他部署と連携し対応にあたる。
3	うるおいとやすらぎのある快適なまち ー快適環境の確保ー		計画の性質上、具体的な目標は設定していない		
4	環境への負荷が少ないまち ー循環型社会の構築ー	おおむね順調	可燃物・資源物を減量化し、適切に処理するための住民への周知や、市民活動付団体と連携した取り組みを行うことなどを継続して行っている。また、環境館での普及啓発も3Rの推進のための重要な取り組みである。	排出されるごみの量は減少傾向にあり、リサイクル率も上昇している。しかし、市民の環境に対する意識を向上させる取り組みは、継続して行うことが必要である。	ごみの出し方や資源物の分別について、様々な手段や方法を用いて市民にPRすることが必要である。美サイクル茅野と協働して、ごみ減量に取り組み紙回収袋を作成・配布する等の市民への啓発活動を継続する。
5	地球環境にやさしいまち ー低炭素型まちづくりー【茅野市減CO ₂ 計画】	おおむね順調	事業者へのヒアリングを実施したことで環境マネジメントシステム補助件数が増加した。市民への意識啓発として、温対協が県元気づくり交付金を申請し、R3年度の事業拡大の筋道を見出した。地球温暖化対策実行計画(事務事業編)を策定した。	世界的に地球温暖化対策の必要性が増す中で、新型コロナウイルス対策のため、啓発行事の開催ができなかった。コロナが収束するまでは大規模行事は困難であるため、有効な手段を検討する必要がある。	・元気づくり交付金の対象となった温対協の取組を若い世代と連携する中で拡大していく。 ・事業者に環境マネジメントシステムの取得推進を呼びかける。 ・公共施設に事務事業編の取組を定着させて、エネルギー使用量の抑制を図る。

※5つ以上の場合は裏面へ

4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

		主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称	環境審議会	①成果指標の見直しをされたい。 ②合併浄化槽の法定検査の受検率を高めてほしい。 ③脱炭素化に向けて市として方向性を明確にしてほしい。	①計画見直しの際に指標の見直しを検討します。 ②上昇傾向にあるので引き続き善処します。 ③方向性の明確化に向けて善処します。
開催回数	1		
参加延べ人数	17		
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			

5. 添付資料

別紙「施策評価シート」

3.各施策等における評価内容と改革改善(5つ目以降)

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
6	協働で環境づくりに取り組むまち ー連携・参加と環境学習ー	やや遅れている	各種市民団体との協議の中で新型コロナウイルス対策を講じた啓発行事の開催を目指したが開催できなかった。	コロナが収束するまでは大規模行事は困難であるため、有効な手段を検討する必要がある。	感染症対策を十分に講じる中で、市民・事業者・滞在者・市の各主体が参加し、協働で環境保全に取り組むために、活動への協力呼びかけを継続していく。
7					
8					
9					
10					